

令和5年8月21日（月）

農政課 企画グループ

安田、西井 087-832-3395（内線 3722）

香川県環境負荷低減事業活動実施計画の認定証 授与式を開催します！

本県では、みどりの食料システム法^{*}に基づき、環境と調和した農林漁業の実現を目指して「香川県みどりの食料システム基本計画」（資料1：概要）を策定したところであり、本計画に沿った環境負荷低減事業活動を行おうとする農林漁業者等が、「環境負荷低減事業活動実施計画」を作成し、知事の認定を受けることで、当該事業活動に必要な設備投資の際の、所得税・法人税の優遇措置などを受けることができることとなっています。

今回、本県で初めての認定となる7名の農業者等を対象に、池田知事から直接、認定証の授与を行います（資料2：認定者の取組概要）。

^{*}環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律

1 日時 令和5年8月25日（金） 午後2時30分～

2 場所 県庁本館 21階 特別会議室

3 出席者 認定者（7名）、池田知事 他

4 内容

- ①知事挨拶
- ②認定者取組紹介
- ③認定証授与
- ④フォトセッション



認定証（イメージ）

【経緯】

国において、将来にわたり農林漁業及び食品産業の持続的発展と国民に対する食料の安定供給の確保を図る観点から、令和3年に「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ化や、化学農薬の使用量半減、化学肥料の使用量の3割減などの目標を掲げています。こうした中、本戦略を踏まえ、農業者等の関係者の理解と支持の下、農林水産物等の生産から消費に至る各段階において環境負荷低減に取り組むことにより、環境と調和のとれた食料システムの確立を図り、もって農林漁業及び食品産業の発展等に寄与することを目的に、「みどりの食料システム法」が公布・施行されました。本法律に基づいて、都道府県及び市町村は、共同して、環境負荷低減に関する目標、環境負荷低減事業活動の内容、さらには当該事業活動により生産された農林水産物の流通・消費の促進等について定めた、基本計画を策定できることとなっており、本県では令和5年3月に、県内全17市町と共同で策定したところです。

【取材に関するお願い】

取材を希望される場合は、8月23日（水）17時までに農政課までご連絡いただきますようお願いいたします。

- **土づくりの推進**や**化学肥料・化学農薬の使用低減**、**温室効果ガスの排出量の削減**に取り組むとともに、**消費者や流通・販売事業者が一体となって有機農産物等の理解促進・需要拡大**を図ることにより、**環境にやさしい農業の取組面積の拡大**に努め、**環境と調和した農林漁業の実現**を図る。

【作成主体】 香川県及び県内全 17 市町

【計画の目標】

- ・ 環境にやさしい農業の取組面積：130ha（R7）
〔環境保全型農業直接支払交付金の対象面積：
有機農業、化学農薬及び化学肥料を5割以上低減〕
- ・ 精密な土壌測定診断件数（累計）：6,500件（R3～R7）

【取組のポイント】

- ・ 土壌診断に基づく有機質資材の施用による土づくり、物理的防除技術等の実証・普及による化学肥料・化学農薬の使用低減を図る取組みを促進
- ・ 県が開発した環境制御システム「さめきファーマーズステーション」の導入・活用などによる温室効果ガスの排出量削減に資する取組みを促進
- ・ 「環境にやさしい農業」や有機農産物等について、消費者をはじめ、流通・販売事業者に対してセミナー等を開催し理解促進を図るとともに、学校給食等への利用を促進

取組のイメージ



耕畜連携による土づくり



紫外光照射による病害の抑制



環境データをモニタリングし、制御する「さめきファーマーズステーション」



環境にやさしい農業推進セミナー

香川県環境負荷低減事業活動実施計画認定者の取組概要

認定 番号	氏名 〔市町名〕	経営概要	環境負荷低減事業活動取組 作物・面積〔現状⇒目標〕	取組内容
001	長岡 輝幸 〔丸亀市〕	露地野菜：0.9ha	ニンジン・玉ねぎ 〔6 a ⇒17 a〕	・ソルゴーなど緑肥作物のすき込みによる土づくりと、堆肥の施用や太陽熱を利用した土壌消毒、マルチ栽培の取組みによる化学肥料・化学農薬を使用しない有機農業に取り組む
002	(株) やさいや 代表取締役 内山 敬久 〔観音寺市〕	露地野菜・水稻：4.9ha	レタス 〔0.2ha⇒1.3ha〕	・稲わらや、ソルゴーなど緑肥作物のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬、フェロモン剤の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減 ・生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
003	(有)藤川果樹園 代表取締役 藤川 寿夫 〔観音寺市〕	果樹：9.6ha	レモン（施設栽培） 〔17 a ⇒17 a〕	・堆肥の施用による土づくりと、油かす等有機質肥料の施用や防虫ネットの設置、機械除草の実施による化学肥料・化学農薬の使用低減
004	須藤 彰仁 〔三豊市〕	たけのこ：0.2ha	たけのこ 〔0.2ha⇒1.2ha〕	・土壌改良資材（バイオ炭）の農地への施用による土壌への炭素貯留の促進
005	曾根花卉 代表 曾根和久 〔三豊市〕	果樹・花木：1.5ha	温州みかん、中晩柑 〔25 a ⇒25 a〕	・牛ふんおがくず堆肥の施用による土づくりと、汚泥発酵肥料の施用や機械除草の実施による化学肥料・化学農薬の使用低減
006	矢野 耕平 〔綾川町〕	露地野菜・果樹：2.3ha	白ねぎ、ニンジン、玉ねぎ等 〔2.3ha⇒3 ha〕	・ソルゴーなど緑肥作物のすき込みによる土づくりと、油かす等有機質肥料の施用やマルチ栽培、防草シート等を利用した取組みによる化学肥料・化学農薬を使用しない有機農業に取り組む
007	砂岡 恒 〔まんのう町〕	露地野菜：1.8ha	レタス、キャベツ、さつまいも等 〔1.8ha⇒2 ha〕	・ソルゴーなど緑肥作物のすき込みによる土づくりと、牛ふん堆肥の施用や防蛾灯、フェロモントラップ等の利用による化学肥料・化学農薬を使用しない有機農業に取り組む